

Title	アジア侵掠秘史(桑原三郎著, 清水書房発行)
Sub Title	
Author	武田, 勝藏(Takeda, Katsuzo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1941
Jtitle	史学 Vol.20, No.1 (1941. 7) ,p.186- 186
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19410700-0186

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

られてゐて甚だ親切周到なのが嬉しい。東洋史殊に唐代に於ける東西文化の交流に就いて關心を有して居られる方は勿論その他の人士も是非一本を備へらるべきである。敢てこゝに本書を江湖に紹介して欣快の微情を表すものである。(竹田龍兒)

アジア侵略秘史

(桑原三郎著
清水書房發行)

本書は新興アジア諸民族が皇國日本を盟主と仰ぎ、大東亞共榮圈の完遂に悲壯な決意を固め、渾力を擧げて蹶起するの止むなきに至つた必然的過程を闡明すると共に、更に過去に於ける歐米列強のアジア侵略に用ひし悪辣なる謀略政策の種類と發達とをみきわめて、如上の大東亞共榮圈の建設途上に於て、再度かゝる謀略にかゝることなき用意として、世に贈りしものと云ふ。

時恰も我が皇紀二千六百年の光輝ある歳に際會し、金鷄再び東海の天にあらはれて、光芒あざやかにアジア大陸の曉空を高く照らすに當り、十一億の諸民族は歡喜と感激とを以て景仰すると共に、嗚り渡る曉の神鐘に覺め、奮起し始めるに至り、即ち滿洲國あり、蒙古聯合自治政府あり、中華民國新中央政府あり、はた泰國等がある。然し我が總力を擧げての興亞聖戰の前途は猶ほ遠遠にして、且つ愈々多事である。この新興諸國の指導者たる我が皇國民が聖戰の由來を再認識し、更に今後の方策を試練せらるゝに當り本書は良き參考書の一であることを紹介する。

終に、昨秋、蒙疆、北支、中支を一巡せし余は、我が銃前銃後の國民共助して、事變終局の勝利を占めるまでには如何なる犠牲

にも堪へ、千苦萬難を克服して、アジアの奪還とアジア民族の解放の快舉に愈々勇往邁進し、アジア史否な世界史に一大改革を加へらるゝ秋なりと痛感すると共に、皇軍戰歿勇士の靈位と出征將士に滿腔の感謝の誠意を捧ぐる次第である。(武田勝藏記)